

ひじや ひじり
泥谷 聖

株式会社高田クレーン興業 営業事務

2

017年、株式会
社高田クレーン興
業に入社された泥

谷聖さん。本社の営業事務に加え、東京支店の管理業務も任されています。管理業務の担当に至った経緯や、普段から心がけていること、今後の目標などをお聞きました。

——現在のどのような業務をされているのか、具体的にお聞かせください。

入社以来、得意先への請求書の作成や配車業務、クレーンオペレーターの勤怠管理や交通費精算といった、営業をサポートする事務全般に携わっています。最近はそのに加えて東京支店の管理業務も任せられるようになりました。

以前は東京支店に事務社員はおらず、本社でサポートを行っていました。2019年に事務を2名採用し、私は一旦担当を外れました。ただ、その2名のうち

1名がしばらくして退職、残る1名がすべての事務作業を抱えることになってしまったのです。そこで社長からお声掛けいただきサポート役として改めて東京支店との兼務が決まったのです。

——以前よりも仕事の責任範囲が拡大したそうですが、内容も大きく変わりましたか。

最初の頃は私が主体となって事務作業にあたっていました。現在、東京支店における私の役割は、正しく事務処理がされているかどうかの確認と管理です。始動したばかりなので、どう進めた

ら効率良くできるか日々手探りしています。

東京支店の事務の方は私よりも年長で経験もある方で、管理する立場としては「年下で経験がないからできません」という言い訳をするわけにはいきません。仕事を任せられた上でしっかりとサポートし、何かミスがあった際には、これまで自分が上司にしていたように、きちんと責任を持ってフォローできるようにになりたいと思っています。



——高田クレーン興業では泥谷さんが最年少だそうですが、責任ある立場に指名されたときのお気持ちを聞かせください。

素直に嬉しく思いました。実は入社から1年後に、社長からある仕事を任せられるチャンスをおいただいたのですが、当時抱えている業務で手いっぱいだった私は、生意気にも「できません」と返答してしまっただけです。そのやり取りを知った当時の上司である御影さんから、「社長はできない仕事を振る方ではないから、文句を言う前に挑戦したほうが良い」と助言をいただきました。そこで私

は、自分が社長の期待を裏切り、一つの機会を逃してしまっただけで覚悟したのです。その後は何でも挑戦しようという心を決めて進んできました。今回改めて貴重な機会をいただいたので、挽回できるように頑張ります。

——普段働く際の心がけを教えてください。

主に二つあります。一つは、緊張感をもって取り組むこと。営業事務は金銭が絡む仕事が多いためです。それだけでも責任重大ですが、最近では大型のクレーンが増えて、リース料などの請求金額も以前より高額になっています。金

額の違いで仕事内容が変わるわけではありませんが、これまで以上に気を引き締めているところです。

もう一つは、常にアンテナを張りめぐらせておくことです。自らの業務をこなしつつ、周囲の会話から機械の搬入出や、オペレーターの状況を把握します。他の社員もそれぞれに仕事を抱えていますので、分からないからと人に聞くばかりではなく、独自に収集した情報から状況を知り、自ら解決につなげることも重要です。

——今後の目標をお聞かせください。

高田クレーン興業で働き始めた頃は社会経験が浅く、上司や先輩方からよく怒られ、会社にもしばしば迷惑をかけていました。いまだに未熟な部分はあると思いますが、自分にできることを一つずつこなし、いずれは「泥谷なら安心して任せられる」と言っていただけよう努力していきます。

失敗を糧にして成長する泥谷さん。これからもその前向きな姿勢で、高田クレーン興業のために力を尽くしてまいります。

コロナに負けない!異動先での奮闘レポート!

■異動の話を受けたときの率直な感想

初めは一時的にヘルプに行くような形だと思っていたので、今回の異動は正直想定外でした。今まで経験したことがない業務だったので不安が大きかったのですが、先輩の方々に非常に丁寧に教えていただき、徐々に仕事ができるようになりました。

特に泥谷さんには大変お世話になりました。すべてを教えてくださいたいだけでなく、自分で考える時間をくださったので、能動的な姿勢が身についたと思います!

■現在の業務内容

主に請求書の作成や売上入力、入金管理を行っています。営業事務は泥谷さんと私の2人なので、協力しながら業務を推進しています。

■佐藤さんからみる高田社長

直接お話をさせていただく機会はありませんが、社員想いであるという印象があります。早く期待に応えられるように頑張ります。

■今後の目標

早く業務を覚えて、一人前になりたいと考えています!

■社員の皆さんへメッセージ

コロナ禍で厳しい状況だと思いますが、今こそ一致団結のときだと思います。タカダグループ一丸となって頑張らしましょう!



異動前
Welina Hotel 道頓堀 フロント

異動後
株式会社高田クレーン興業 クレーン事業部 営業事務

さとう ゆみ
佐藤 裕美さん



異動前
Welina Hotel 本町 フロント

異動後
株式会社高田クレーン興業 ホテル事業部 経理

いせき りえ
井石 理恵さん

■異動の話を受けたときの率直な感想

2020年4月中旬のホテル休業と同時の突然の異動ということで驚きました。異動前のホテルにおいて請求書や提出書類の作成等、多少経理の部分にも携わっていた経験も活かしていきながら、2020年6月に新規オープンした Welina Hotel Premier 中之島 Eastや営業を再開したホテルを経理という立場から支えていきたいと思っています。

■現在の業務内容

各旅行サイトの売り上げと、実際の売り上げを照らし合わせて一致しているか、一つひとつ確認を行っています。

■井石さんからみる高田社長

誰よりも元気でエネルギッシュな方である印象です!

■今後の目標

経理の仕事は会社の売り上げという大事な部分に関わってくるため、責任感と覚悟を持って向き合っていきます。そのために引き続き、キャンセルがあった際にはメールや電話で理由を随時確認し、訂正があった場合には1件1件内容を確認しながら取り組んでいます。

■社員の皆さんへメッセージ

まだ入社2年目ですが、タカダグループの力になれるよう精一杯頑張っていきます!

感謝と決意

今回、5月と6月に正社員として採用された35名の中から、代表して服部さんにインタビューしました!採用された喜びや今後の意気込みを熱く語っていただきました。



株式会社 Welina
はっとり チェン
服部 震さん

■タカダグループを選んだ理由

様々な企業の説明会を受ける中、他社と比較して事業規模の大きな会社と知りました。その環境で働けることはとても安心感があると思い、タカダグループに決めました。

■大量採用について

面接のときに多くの就活生がいましたが、最終的に何人採用されたのかは知りませんでした。そのため今回このコロナ禍において、5月の8名に加えてさらに6月で27名を採用していただいたと聞き、大変驚きました。今年はビザが発給されなかったり、多くの会社で内定取消がある中、大量採用を実現してくれたことを日中文化芸術専門学校の先生方も絶賛しており、クラスでも大きな話題となりました。

また、実際に働く前から補助を出していただくなど手厚い対応をしていただき、この会社を選んで本当に良かったと思っています。苦しい状況の中で雇っていただいたことに感謝しながら、これから始まる業務に全力で取り組み、必ずや恩返しをしていきたいと思っています。

■今後の目標

今後の業務はフロントの予定になっています。しかし、フロントだけではなく清掃や管理など裏方の仕事も責任をもって行い、一人前になれるように頑張ります。

■会社へ向けたメッセージ

採用していただいた感謝の気持ちを忘れず、私の強みである日本語と中国語でのお客様対応を全力で行いたいと思います。

■同期に向けたメッセージ

全員がタカダグループの成長の力になれるよう、お互いに協力しあえる関係を築き上げていきましょう。皆さんこれからどうぞよろしくお願いいたします!

Topics

新入社員が 入社しました!

新車を導入しました!

